

再生する

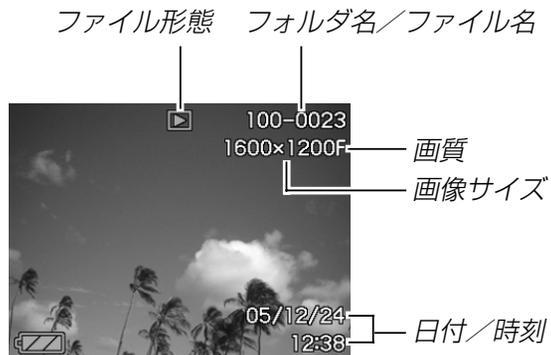
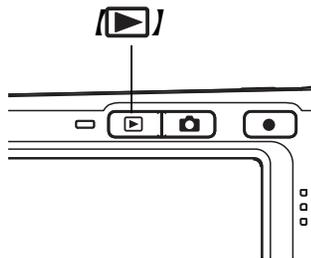
本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルを本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【▶】(PLAY)を押します。

- PLAYモードになり、再生できる状態になります。
- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。



2. 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。



【▶】を押す：進みます。

【◀】を押す：戻ります。

参考

- 【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
- 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐ後に精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像は、この限りではありません。

音声付き画像を再生する

音声付きの画像(🔊)が表示される画像)を見るときは、下記のように操作してください。

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で音声付き画像を表示させます。

2. 【SET】を押します。

- 画像に録音された音声スピーカーから再生されます。



- 音声再生中に、次のような操作ができます。

音声を早戻し／早送りする	【◀】【▶】を押し続ける
再生と一時停止を切り替える	【SET】を押す
音量を調整する	【▼】を押した後、【▲】 【▼】を押す
表示内容を切り替える	【▲】(DISP)を押す
再生を中断する	【MENU】を押す

重要! • 音声付き画像の音量調整は、再生／一時停止中に可能です。

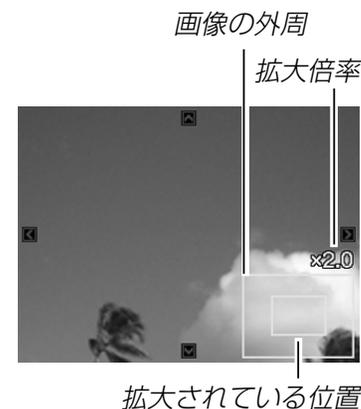
画像を拡大して表示する

撮影した画像を8倍まで拡大して表示させることができます。

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で拡大したい画像を表示させます。

2. 【ズームボタン】の🔍側を押して、画像を拡大します。

- 画像の右下に拡大されている位置が表示されます。
- 【BS】を押すと、倍率などの表示のオン／オフができます。



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。

4. 【MENU】を押すと、画像は元の大きさに戻ります。

重要! • 画像のサイズによっては、8倍までの拡大表示ができない場合があります。

画像サイズを変える(リサイズ)

撮影した静止画像を、次の3種類のサイズに変えることができます。

- 1600×1200pixels のUXGA サイズ：
写真のL判サイズ以下で印刷する場合に最適です。
1280×960pixels のデータより精細です。
- 1280×960pixels のSXGA サイズ：
写真のL判サイズ以下で印刷する場合に最適です。
- 640×480pixelsのVGAサイズ：
メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“リサイズ”と選び、【▶】を押します。

- 静止画が【液晶モニター】に表示されているときのみ操作することができます。



3. 【◀】【▶】でサイズを変えたい画像を表示させます。

4. 【▲】【▼】でリサイズ内容を選び、【SET】を押します。

- リサイズを中止したいときは、“キャンセル”を選びます。

- 重要!**
- リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
 - 次の画像はリサイズできません。
 - 画像サイズが640×480pixels以下の画像
 - 動画、ボイスレコードファイルのアイコン
 - モーションプリント機能により作成した画像
 - このカメラで撮影した画像以外の画像
 - リサイズした画像を保存できるだけのメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。
 - リサイズした画像をカメラで表示した場合、日付はリサイズした日付ではなく、撮影した日付が表示されます。

画像の一部を切り抜く(トリミング)

拡大した画像から必要な箇所を切り抜くことができます。

1. **PLAYモード**にして【◀】【▶】でトリミングしたい画像を表示させます。

2. **【MENU】**を押します。

3. “再生機能”タブ→“トリミング”と選び、【▶】を押します。

- 画像の右下に切り抜かれる部分の位置が表示されます。
- 静止画が【液晶モニター】に表示されているときのみ操作することができます。



4. **【ズームボタン】**を押して、画像を拡大／縮小します。

- 【液晶モニター】に表示されている画像部分が切り抜かれる部分となります。

5. **【▲】【▼】【◀】【▶】**で切り抜きたい部分を上下左右にスクロールします。

6. **【SET】**を押します。

- トリミングを中止する場合は**【MENU】**を押します。

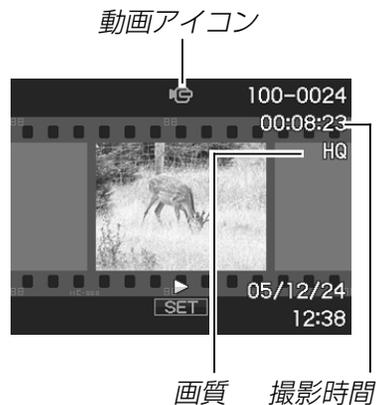
- 重要!**
- トリミングした画像は、トリミングする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
 - 次の画像はトリミングできません。
 - 動画、ボイスレコードファイルのアイコン
 - このカメラで撮影した画像以外の画像
 - モーションプリント機能により作成した画像
 - トリミングした画像を保存できるだけのメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。
 - トリミングした画像をカメラで表示した場合、日付はトリミングした日付ではなく、撮影した日付が表示されません。

動画を再生／カットする

動画を再生する

撮影した動画を再生することができます。

1. **PLAY**モードにして【◀】
【▶】で再生したい動画を表示させます。



2. **[SET]**を押します。

- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。
 - 早戻し／早送りする 【◀】【▶】を押す
 - 押す毎に早戻し、早送りのスピードが早くなります。
 - **[SET]**を押すと通常の再生に戻ります。

- 再生と一時停止を切り替える ... **[SET]**を押す
- 一時停止中にコマ送りする **[◀]【▶】**を押す
- 再生を中断する **[MENU]**を押す
- 音量を調整する **[▼]**を押した後、**[▲]【▼]**を押す
- 表示のオンオフを切り替える ... **[▲]**(DISP)を押す
- 拡大する **[ズームボタン]**の **Q** 側を押す
- 拡大中は**[▲]【▼]【◀]【▶]**で拡大部分の移動ができません。

重要! • 動画の音量調整は、再生中のみ可能です。

動画をカットする(ムービーカット機能)

動画のカット(削除)編集ができます。

 カット(前カット) : 選択した場面から前をカットします。

 カット(中カット) : 選択した場面と場面の間をカットします。

 カット(後カット) : 選択した場面から後をカットします。

- 重要!**
- この操作では再生中の画像そのものをカットしますので、カット後に消してしまった場面をもとに戻すことはできません。
 - 5秒未満の短い動画は、ムービーカットできません。
 - カット編集処理に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
 - カット編集しようとしている動画ファイルよりも残りメモリー容量が少ない場合は、ムービーカットできません。その場合は不要なファイルを消去するなどして、残りメモリー容量を増やしてください。
 - 動画を二つに分けたり、二つの動画を一つにすることはカメラ上ではできません。ただし、同梱のソフト「Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD」を使えば、パソコン上では可能です。

■前カットと後カットのしかた

1. 動画再生中に【SET】を押します。

- 動画が一時停止します。



2. 【▼】を押します。

- ※ PLAYモードにして【MENU】を押し、“再生機能”タブ→“ムービーカット”と選んで【▶】を押しても、同じ表示になります。

3. 【▲】【▼】で“ カット(前カット)”または“ カット(後カット)”を選び、【SET】を押します。

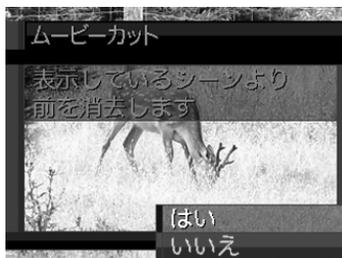
- “キャンセル”を選ぶとカットを中止します。

4. 下記のボタンでカットしたい地点(境界のコマ)を探します。



- 早戻し/早送りする 【◀】【▶】を押す
 再生と一時停止を切り替える 【SET】を押す
 一時停止中にコマ送りする 【◀】【▶】
 カットを中止する 【MENU】を押す
 • バー表示の赤くなっている部分がカットされる部分です。

5. カットしたい地点(コマ)を表示したら【▼】を押します。



6. 【▲】【▼】で“はい”を選び、【SET】を押します。
- “処理中です しばらくお待ちください”と表示され、この表示が消えるとカットは完了します。
 - “いいえ”を選ぶとカットを中止します。

■中カットのしかた

1. 動画再生中に【SET】を押します。

- 動画が一時停止します。



2. 【▼】を押します。

- ※ PLAYモードにして【MENU】を押し、“再生機能”タブ→“ムービーカット”と選んで【▶】を押しても、同じ表示になります。

3. 【▲】【▼】で“ カット(中カット)”を選び、【SET】を押します。

- “キャンセル”を選ぶとカットを中止します。

4. 下記のボタンでカットしたい地点(境界のコマ)を探します。

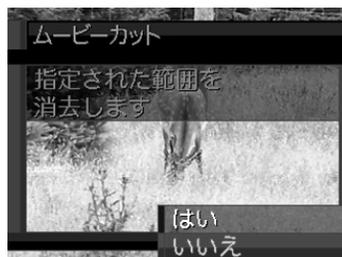
- 早戻し/早送りする 【◀】【▶】を押す
 再生と一時停止を切り替える 【SET】を押す
 一時停止中にコマ送りする 【◀】【▶】
 カットを中止する 【MENU】を押す

5. カットする始めの場面(コマ)を表示したら【▼】を押します。



6. 操作4と同様に操作し、カットする終わりの場面が表示されたら【▼】を押します。

- バー表示の赤くなっている部分がカットされる部分です。



7. 【▲】【▼】で“はい”を選び、【SET】を押します。

- “処理中です しばらくお待ちください”と表示され、この表示が消えるとカットは完了します。
- “いいえ”を選ぶとカットを中止します。

動画から静止画を作成する(モーションプリント機能)

本機で撮影した動画から印刷に適した静止画を作ることができます。静止画のレイアウトは9コマと1コマの2種類です。画像サイズは選んだレイアウトによって決まっています。

- 9コマで作成 (1600×1200pixels)
 - 選んだ場面を最も大きくレイアウトした9コマの静止画が1枚に記録されます。



- 1コマで作成 (640×480pixels)



1. PLAYモードにして【◀】【▶】で素材にしたい動画を表示させます。
2. 【MENU】を押します。

3. “再生機能”タブ→“モーションプリント”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で作成したいレイアウトを選びます。

- “キャンセル”を選ぶと作成を中止します。



5. 【◀】【▶】で静止画にしたい場面を探します。

- 押し続けると早送り、早戻しができます。

6. 最も良いと思うコマを選んで、【SET】を押します。

- 作成された画像が表示されます。
- “9コマで作成”を選んだ場合は、ここで選んだコマが最も大きく中央にレイアウトされます。
- “1コマで作成”を選んだ場合は、ここで選んだコマが静止画になります。



1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. PLAYモードにして【ズームボタン】の☒側を押します。

- 9つの画像が表示され、最後に表示されていた画像が枠が付いた状態で中央に表示されます。
- 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は直前まで【液晶モニター】に表示されていた画像に付きます。
- 【◀】【▶】を押して、枠が画面の左端、または右端まで行くと、次の9枚を表示します。
- ボイスレコードファイル(155ページ)には  が表示されます。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を見ていきます。

例：画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合



- 通常表示(1画面表示)で見たいときは、目当ての画像に枠を移動して【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押します。



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。

カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に記録した最初のファイルを表示させて、再生したいファイルを素早く探すことができます。

1. PLAYモードにして【ズームボタン】の \square 側を2回押します。

- 年/月の表示は“表示スタイル”の設定(127ページ)に従って表示されます。
- 各日付上にその日に記録した最初のファイルが表示されます。
- カレンダー表示を終えるには【MENU】または【BS】を押します。
- ボイスレコードファイル(155ページ)には  が表示されます。
- このカメラで表示できないデータの場合は  が表示されます。



2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で見たいファイルのある日付に枠を移動し、【SET】を押します。

- その日に記録した最初のファイルが表示されます。

画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。ページめくりの間隔を設定することもできます。



1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“スライドショー”と選び、【▶】を押します。
3. 表示させる画像の種類や時間を設定します。

表示画像	• 全画像 メモリー内のすべてのファイルを表示
	•  のみ 静止画、音声付静止画のみ表示
	•  のみ 動画のみ表示
	• 1枚画像 ファイルを1枚選んで表示 【◀】【▶】で目的の画像を表示させ【SET】を押します。

表示画像	<ul style="list-style-type: none"> • お気に入り お気に入りフォルダにあるファイルを表示
時間	再生したい時間を【◀】【▶】で選ぶ(1~5、10、15、30、60分)
間隔	スライドショーの間隔を決める <ul style="list-style-type: none"> • 【◀】【▶】で“最速”と“1~30秒”の中から設定 • “最速”での動画は、先頭のコマだけ表示
エフェクト	画像の表示方法を5種類の中から選ぶ <ul style="list-style-type: none"> • パターン1~3 あらかじめ設定された独自の動きをしながら画像を表示 • ランダム パターン1~3をランダムに切り替えて画像を表示 • 切 エフェクト表示をしない

4. 【▲】【▼】で“開始”を選び、【SET】を押します。
 - 指定した条件でスライドショーが始まります。
5. もう一度【SET】を押すと、スライドショーが終了します。
 - 【MENU】、【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押してもスライドショーは終了します。
 - “時間”で設定した時間が経過すると自動的に終了します。

- 重要!**
- 画面の切り替わり中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止しているときにボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。
 - スライドショー再生中に【◀】【▶】を押すと、画像を送ることができます。
 - 動画は音声とともに1回再生します。
 - ボイスレコードファイルと音声付き静止画は音声を1回再生します。
 - “表示画像”を“1枚画像”にしたときに動画を選ぶと、動画は設定された時間内で繰り返し再生します。
 - スライドショーの“間隔”を“最速”に設定した場合は動画、音声付き静止画、ボイスレコードの音声は再生されません。“最速”以外に設定している場合は何秒に設定しても動画と音声(音声付き静止画、ボイスレコード)は最後まで再生されます。
 - 音声再生中に【▼】を押した後、【◀】【▶】を押すことにより、音量を調整することができます。
 - スライドショーの“表示画像”を“お気に入り”に設定した場合、またはスライドショーの“間隔”を“最速”、“1秒”、“2秒”に設定した場合、エフェクトの設定は無効となります。
 - パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。
 - 【▲】(DISP)を押すことで、画面の表示内容を切り替えることができます(26ページ)。

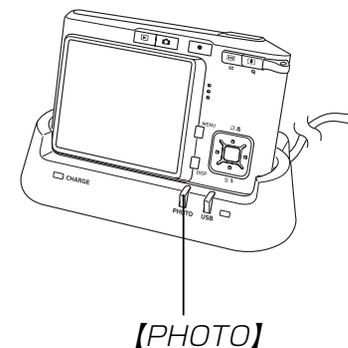
USBクレードルにセットしたままスライドショーさせる(フォトスタンド機能)

カメラをUSBクレードルにセットしたままスライドショーができます。電池の消耗を気にせずに、フォトスタンドのように画像を見ることができます。フォトスタンド機能はスライドショーの設定にしがって表示します。あらかじめスライドショーの設定を行ってください(106ページ)。

1. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルにセットします。

2. USBクレードルの【PHOTO】を押します。

- スライドショーが始まります。
- 【MENU】を押すと、スライドショーの各設定項目が設定できます。スライドショーを再開するには、メニュー表示中に【MENU】を押すか、“開始”を選んで【SET】を押してください。
- 音声再生中に【▼】を押した後、【◀】【▶】を押すことにより、音量を調整することができます。



3. [PHOTO]を押すと、スライドショーが終了します。

- 重要!** • スライドショー中は電池の充電ができません。充電する場合はスライドショーを終了してください。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。縦置きで撮影した画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“回転表示”と選び、[▶]を押します。
 - 静止画が【液晶モニター】に表示されているときのみ操作することができます。
3. [◀][▶]で回転させたい画像を表示させます。
4. [▲][▼]で“回転”を選び、[SET]を押します。
 - “回転”を選んだ状態で【SET】を押すたびに、90°ごとに右まわりに回転します。



5. [MENU]を押して、設定を終了します。

- 重要!**
- メモリープロテクトをかけたファイルを回転させることはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。
 - 他のデジタルカメラで撮影した画像は、回転できない場合があります。
 - 次の画像は回転表示できません。
 - 動画、ボイスレコードファイルのアイコン
 - 拡大表示された画像
 - モーションプリント機能により作成した画像
 - 下記の場合は回転表示を設定しても、回転させる前の画像が表示されます。
 - 9画面表示内の画像*
 - カレンダー表示中の画像
- ※ 1枚を表示した場合は回転表示します。

画像ルーレット機能を使う

カメラ内の画像を【液晶モニター】でルーレットのように送りながら1枚の画像を選択していく機能です。最後に選択される画像がどれになるかはわかりません。全く規則性はありません。

- 1. 電源が切れている状態で、【◀】を押したまま【▶】(PLAY)を押して電源を入れます。**
 - 【◀】は【液晶モニター】が表示されるまで押し続けてください。
 - 画像ルーレットが開始され、最後に1枚の画像が選択され止まります。
- 2. 【◀】【▶】を押すと、画像ルーレットを再開します。**
- 3. RECモードにするか、【電源ボタン】を押して電源を切ると、画像ルーレット機能は終了します。**

- 重要!**
- 動画やボイスレコードファイルは画像ルーレットの対象となりません。
 - 静止画が1枚だけの場合は、画像ルーレット機能に入りません。
 - 回転表示させた画像は、回転させる前の画像が表示されます(108ページ)。
 - カメラで撮影した画像がルーレットの対象となります。他の画像が入っていると、画像ルーレット機能が動作しない場合があります。
 - 画像が停止してから約1分以上、次の画像ルーレットを開始しないと、通常のPLAYモードになります。
 - 画像ルーレット機能は“REC/PLAY”の動作設定(130ページ)が“パワーオン”または“パワーオン/オフ”の場合に使用できます。

画像に音声を追加する (アフターレコーディング機能)

アフターレコーディング機能(アフレコ)により、撮影済みの画像に音声を追加することができます。また、音声付き画像(🎙️)が表示される画像)に録音された音声を、記録し直すことができます。

- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。拡張子は“.WAV”となります。
- 録音時間：1画像につき最長約30秒間
- 音声ファイルサイズ：
約165KB(約5.5KB/秒で30秒間録音時)

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で音声を追加したい画像を表示させます。
2. 【MENU】を押します。
3. “再生機能”タブ→“アフレコ”と選び、【▶】を押します。

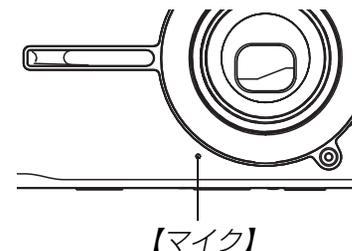


4. 【シャッター】を押して、音声を録音します。
5. 【シャッター】を押すか約30秒経つと録音を終了し、音声を記録します。

音声を記録し直す

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で音声を記録し直したい画像を表示させます。
2. 音声追加(アフレコ)の手順2~3と同じ操作により“アフレコ”を選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押します。
 - 音声を消すだけにしたいときは、上の手順3操作後に【MENU】を押してください。
4. 音声追加(アフレコ)の手順4~5と同じ操作により、音声を録音します。
 - 前に録音していた音声を消え、新しい音声が録音されます。

- 重要!**
- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
 - 音声を追加した画像には、 (音声アイコン)が表示されます。
 - メモリー容量が少ないときは、録音できない場合があります。
 - 次の画像は音声を追加することはできません。
 - 動画
 - モーションプリント機能により作成した画像
 - メモリープロテクトがかかっている画像
 - 音声を記録し直した場合または音声を消去した場合、前に録音していた音声を消え、二度と元に戻すことはできません。音声を記録し直す際は、よく確かめてから行ってください。



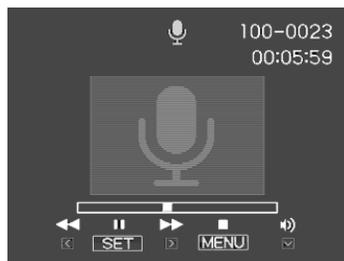
音声を再生する

ボイスレコードファイルに録音した音声を再生します。

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で再生したい音声^①が録音されたボイスレコードファイル(🎙️が表示される画像)を表示させます。

2. 【SET】を押します。

- ボイスレコードファイルの音声がスピーカーから再生されます。



- 音声再生中に、次のような操作ができます。
音声を早戻し／早送りする 【◀】【▶】を押し続ける
再生と一時停止を切り替える... 【SET】を押す
音量を調整する 【▼】を押した後、【▲】【▼】を押す
表示のオンオフを切り替える... 【▲】(DISP)を押す
再生を終了する 【MENU】を押す

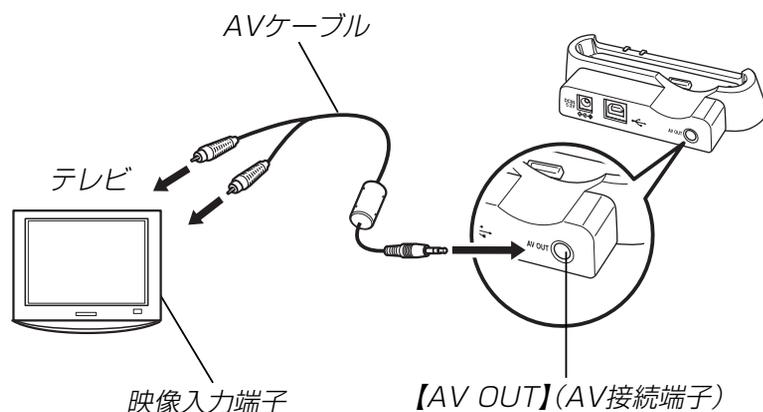
- 重要!**
- ボイスレコードファイルの音量調整は、再生／一時停止中に可能です。
 - 録音時にマークを付けたボイスレコードファイルでは、一時停止中に【◀】【▶】を押すことにより、マークを付けた位置まで再生位置を移動させることができます。続けて【SET】を押すと、マークを付けた位置から再生を始めることができます。

テレビに画像を映し出す

カメラで撮影した内容を、テレビの画面に映すことができます。テレビの画面に映すには、USBクレードルを介して本機と映像入力端子を備えたテレビを付属のAVケーブルで接続します。

1. 付属のAVケーブルでUSBクレードルの【AV OUT】(AV接続端子)とテレビの映像入力端子を接続します。

- AVケーブルの黄色プラグをテレビの映像入力端子(黄色)に、AVケーブルの白色プラグをテレビの音声端子(白色)に接続してください。



2. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルにセットします。
3. テレビの映像入力を“ビデオ入力”に切り替えます。
4. カメラの【▶】(PLAY)を押してカメラの電源を入れます。以降、本機で再生の操作を行ってください。

- 重要!**
- テレビに画像を映し出すとき、カメラの【】(REC)／【】(PLAY)ボタンの動作は必ず“パワーオン”または“パワーオン／オフ”に設定しておいてください(130ページ)。
 - 【液晶モニター】に表示されるアイコンなどは、そのままテレビ画面に表示されます。
 - 音声はモノラルとなります。
 - テレビに画像を映し出すと、カメラの【液晶モニター】は消灯します。
 - USBクレードルの【PHOTO】を押して、テレビの画面でフォトスタンドのように画像を見ることができます(107ページ)。
 - テレビ画面の大きさによっては、撮影した画像の一部が表示されない場合があります。
 - テレビに画像を映し出したとき、動画や音声の再生音量は最大で出力されます。音量の調整はテレビのボリュームなどで行ってください。
 - 別売のモバイルAVケーブル(EMC-2A)でカメラの【クレードル接続端子】とテレビの映像入力端子を直接接続すると、カメラで撮影した内容に加えて、カメラで撮影中の表示もテレビの画面に映すことができます。

ビデオ出力の方式を変更する

テレビのビデオ方式に合わせて、カメラの出力信号を変更することができます。ビデオ方式には、NTSCとPALの2種類があります。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“ビデオ出力”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。
PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。

- 重要!**
- ビデオ方式が異なると、正しく表示されません。
 - 本機は、NTSC方式とPAL方式のみに対応しております。その他の方式のテレビ(モニター)では、画像が正しく表示されません。

消去する

ファイルを消去するには次の2つの方法があります。

1ファイル：1ファイルずつ消去する。

全ファイル：すべてのファイルを消去する。

- 重要!**
- 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
 - メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(118ページ)。
 - すべてのファイルがメモリープロテクト(119ページ)されている状態では、消去は実行できません。
 - 音声付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。

1ファイルずつ消去する

1. **PLAYモードにして【▼】**
( )を押します。



2. **【◀】【▶】**で消去したいファイルを表示させます。
3. **【▲】【▼】**で“消去”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. **【SET】**を押して、表示しているファイルを消去します。
 - 手順2～4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。
5. **【MENU】**を押して、消去操作を終了します。

すべてのファイルを消去する

1. PLAYモードにして【▼】(⏏)を押します。
2. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押します。
3. 【▲】【▼】で“はい”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“いいえ”を選んでください。
4. 【SET】を押して、すべてのファイルを消去します。
 - すべてのファイルが消去されると、“ファイルがありません”と表示されます。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、ファイルの消去防止等の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵メモリーやメモリーカード内に、フォルダを自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ／ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

100CASIO
└──
連番(3桁)

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

CIMG0026.JPG
└──┬──
 └── 拡張子
 連番(4桁)

- このフォルダ名、ファイル名はパソコンで見ることができません。カメラでの表示については25ページを参照してください。
- 保存できるフォルダ数、ファイル数はサイズや画質、またはメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいフォルダ構造に関しては「メモリー内のフォルダ構造」(155ページ)をご覧ください。

記録したファイルにメモリープロテクト (消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(115ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

重要! •メモリープロテクトをかけたファイルでも、内蔵メモリーのフォーマット操作(130ページ)やメモリーカードのフォーマット操作(134ページ)を行うと、消去されてしまいます。

1ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押します。



3. 【◀】【▶】でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。

4. 【▲】【▼】で“オン”を選び、【SET】を押します。

- メモリープロテクトがかかり、が画面上に表示されます。
- メモリープロテクトを解除するときは、“オフ”を選んでください。



5. 【MENU】を押して、メモリープロテクトを終了します。

全ファイルにメモリープロテクトをかける

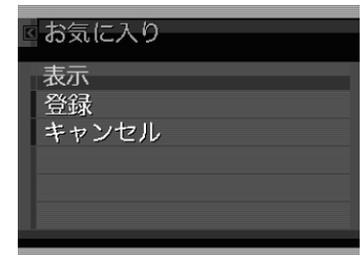
1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“全ファイル オン”を選び、【SET】を押します。
 - メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル オフ”を選んでください。
4. 【MENU】を押して、メモリープロテクトを終了します。

お気に入りフォルダを使う

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」(155ページ)から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ(“FAVORITE”フォルダ)」(155ページ)にコピーすることができます。通常の再生では表示されないので、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんので、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
 - 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。



4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。
5. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
 - 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルを登録します。
6. 設定を終えるには【▲】【▼】で“キャンセル”を選び、【SET】を押します。

- 参考**
- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
 - 登録したファイルには、連番(0001～9999)がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

- 重要!**
- お気に入りフォルダにリサイズしてコピーされたファイルは、元の画像サイズに戻すことはできません。
 - お気に入りフォルダに登録されているファイルは、メモリーカードにコピーすることはできません。

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。
 - お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときは、“お気に入りのファイルがありません”と表示されます。

4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。



お気に入りフォルダアイコン

5. 表示を終えるには【MENU】を2回押します。

重要! • お気に入りフォルダ(“FAVORITEフォルダ”)は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットして、USB通信を行ってください(134、145ページ)。

お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。
4. 【▼】(🔄)を押します。
5. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。
6. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押します。
 - 消去を中止したいときは“キャンセル”を選んでください。
7. 消去を終えるには【▲】【▼】で“キャンセル”を選び、【SET】を押します。

重要! • お気に入りフォルダのファイルは、115ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(130ページ)を行うと、消去されてしまいます。

お気に入りフォルダの全ファイルを消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能” タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。
4. 【▼】(☒)を押します。
5. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押します。

重要! • お気に入りフォルダのファイルは、115ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(130ページ)を行うと、消去されてしまいます。

その他の設定について

カメラの音を設定する

4種類の音(起動音／ハーフシャッター音／シャッター音／操作音)とその音量を設定することができます。

4種類の音を設定する

1. [MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定したい音を選び、[▶]を押します。
4. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

サウンド1～5 : 内蔵されたサンプル音が鳴ります。

切 : 音は鳴りません。

操作音量を設定する

1. [MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“ 操作音”を選びます。
4. [◀][▶]で再生したい音量を選び、[SET]を押します。
 - 音量は「0」(小)～「7」(大)の8段階の間で設定できます。
 - 音量を「0」に設定すると、音は鳴りません。

重要! • 操作音の設定はビデオ出力時(113ページ)音量に反映されます。

再生音量を設定する

操作音とは別に、動画や音声付き静止画の音量を設定することができます。

1. 【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“再生音”を選びます。
4. 【◀】【▶】で再生したい音量を選び、【SET】を押します。
 - 音量は「0」(小)～「7」(大)の8段階の間で設定できます。
 - 音量を「0」に設定すると、音は鳴りません。

重要! • 再生音の設定はビデオ出力時(113ページ)音量に反映されません。

起動画面のオン/オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、【液晶モニター】に表示するかどうかを切り替えることができます。

1. 【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“起動画面”と選び、【▶】を押します。
3. 【◀】【▶】で設定したい起動画面を表示させます。
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

入：設定時に表示していた画像を起動画面として表示します。

切：起動画面は表示しません。

- 参考**
- 設定可能な画像は、下記の通りです。
 - － 内蔵されている専用画像
 - － 静止画
 - － 音声付き静止画(音声は再生されません)
 - － 内蔵メモリーの空きメモリー 以下のサイズで撮影された動画
 - 起動画面は、1つだけ登録できます。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。
 - 登録した起動画像は、内蔵メモリーのフォーマット操作(130ページ)を行うと消去されます。

ファイルの連番のカウント方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(117ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“ファイルNo.”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】****【▼】**で設定内容を選び、**【SET】**を押します。

メモリする : 今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない : ファイルをすべて消去したり、メモリーカードを交換すると、ファイルの連番を継続せずに、0001番からファイル名を始めます。

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイムの都市を設定してから、日時の設定を行います。ホームタイムの都市の変更が必要のない方は、「ホームタイムの日時を設定し直す」の操作のみで日時の設定を行うことができます。

重要! • 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないと、ワールドタイム(127ページ)の日時が正しく表示されませんのでご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. **[MENU]**を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、**[▶]**を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. **[▲][▼]**で“自宅”を選び、**[▶]**を押します。
4. **[▲][▼]**で“都市”を選び、**[▶]**を押します。
5. **[▲][▼][◀][▶]**で自宅の地域を選び、**[SET]**を押します。

6. **[▲][▼]**で自宅の都市を選び、**[SET]**を押します。

- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。

7. **[SET]**を押して、設定を完了します。

ホームタイムの日時を設定し直す

1. **[MENU]**を押します。
2. “設定”タブ→“日時設定”と選び、**[▶]**を押します。
3. 日付と時刻を合わせます。
 - [▲][▼]**：カーソル(選択棒)の部分の数字を変えます。
 - [◀][▶]**：カーソル(選択棒)を移動します。
 - [BS]**：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. **[SET]**を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“表示スタイル”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】****【▼】**で設定内容を選び、**【SET】**を押します。

例) 2005年12月24日

年／月／日：05/12/24

日／月／年：24/12/05

月／日／年：12/24/05

ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】****【▼】**で“訪問先”を選びます。
自宅：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。
4. **【SET】**を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

1. [MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“訪問先”を選び、[▶]を押します。

4. [▲][▼]で“都市”を選び、[▶]を押します。

- サマータイムを設定するときは“サマータイム”を選び、“入”、“切”を設定します。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うため、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
- サマータイムの採用時期は国や地域によって異なります（日本では採用されていません）。



5. [▲][▼][◀][▶]で訪問先の地域を選び、[SET]を押します。



6. [▲][▼]で訪問先の都市を選び、[SET]を押します。
7. [SET]を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“Language”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】【▼】【◀】【▶】**で設定内容を選び、**【SET】**を押します。

USB端子の通信方法を切り替える

パソコンやプリンタなどの外部機器と接続するときの、USB端子の通信方法を切り替えることができます。接続する機器にあわせて切り替えてください。

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“USB”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】【▼】**で使用する機器にあわせて設定を選び、**【SET】**を押します。
 - Mass Storage (USB DIRECT - PRINT) :
パソコンやUSB DIRECT - PRINT対応(140ページ)のプリンタを接続する場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「Photo Loader」使用時)はこちらを選んでください。
 - PTP (PictBridge) :
PictBridge対応(140ページ)のプリンタを接続する場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

【】(REC)／【】(PLAY)の動作を設定する

【】(REC)や【】(PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、【】(REC)や【】(PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。

1. 【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“REC/PLAY”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

パワーオン : 【】(REC)や【】(PLAY)を押すと、電源が入ります。

パワーオン/オフ : 【】(REC)や【】(PLAY)を押して、電源を入れたり切ったりできます。

切 : 【】(REC)や【】(PLAY)を押しても、電源は入りません。

- 重要!**
- “パワーオン/オフ”に設定しているときは、RECモードで【】(REC)を押した場合とPLAYモードで【】(PLAY)を押した場合に電源が切れます。
 - RECモードで【】(PLAY)を押したときはPLAYモードに、PLAYモードで【】(REC)を押したときはRECモードに切り替わります。

参考 • 初期設定は、“パワーオン”となります。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

- 重要!**
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
 - 次の画像も同時に消去されます。
 - メモリープロテクトされた画像
 - お気に入りフォルダの画像
 - ベストショットモードでカスタム登録した内容
 - 起動画面に設定した画像
 - フォーマット操作は、十分に充電された電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
 - フォーマット中に【電池カバー】を開けたりすることは、絶対にお止めください。カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
 - メモリーカードが入っている場合は、取り出してください（134ページ）。
2. **【MENU】**を押します。
3. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、**【▶】**を押します。
4. **【▲】【▼】**で“フォーマット”を選び、**【SET】**を押します。
 - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。
 - フォーマットが完了すると、PLAYモードの場合は“ファイルがありません”と表示されます。